
短編 10

三木拓矢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

短編10

【Nコード】

N2030U

【作者名】

三木拓矢

【あらすじ】

「もっしー佐藤君今何してる？」

「うん？今日は特になにもしてないな。あえて言うなら暇をしてる」

「もっしー佐藤君今なにしてる？」

「うん？今日は特に何もしてないな。あえて言うなら暇をしてる」

「あーそうなの？それはそれは都合がいいこと」

「僕になんの用？」

「私は今勉強におわれているのよ。大学生だから」

「大学生は強調するところなの？僕達同じ学科だからすることは同じだよ」

「なによ、それは課題を終えてなかった私へのあてつけなのかしら？」

「あ、課題終わってないんだ」

「昨日スターボックスに行つて忙しかったのよ」

「スターボックスで1日潰れるって、一体どんな風に過ごしたんだい？」

「佐藤君はそうやって乙女のプライバシーにずけずけと踏み込んでくるのね」

「ごめん。もう聞かないよ」

「そつ、それならいいのよ」

「それで用事ってというのは何なんだい？」

「課題を見せてほしいのよ」

「そういうのはあまりよくないことだと思うんだけど」

「じゃあなに？佐藤君は私に単位をとるなと言いたいの？」

「自業自得だから、しょうがないんじゃない」

「あーあ、そうやって平気の平左で人を傷つけることを言う」

「傷ついたの？」

「傷ついたわ。大いに傷ついちゃった。もう立ち直れないくらい傷ついた」

「ごめんよ」

「いいの佐藤君は特別だから許してあげるわ」

「ありがとう」

「その代わり課題写させて頂戴ね」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2030u/>

短編 1 0

2011年10月10日00時26分発行